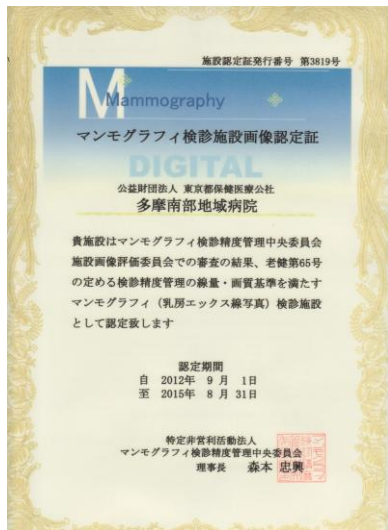


# 当院では9月にマンモグラフィ施設認定でA認定を取得しました！！



## ◎マンモグラフィ(乳房X線撮影)施設認定とは・・・

日本で唯一、施設画質認定評価を行っているNPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会がマンモグラフィを行う施設として基準を満たしていると認めたものです。

## ◎評価の内容

書類審査、画像評価、X線量評価で行います(A～Dの4段階)。この中で特に乳房の正しい位置決めや乳房圧迫の適正と画質評価で点数配分が事細かに決められており、決められた点数が提出写真3枚中1枚でもクリアできないと評価を貰えないという厳しいものです。

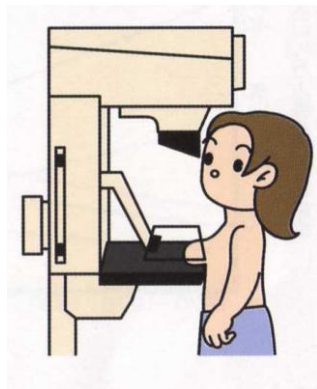
当院では、放射線のリスク(被ばく)を最小限にとどめ、高品質な画像を常に提供できるよう活動を行ってきました。その活動が認められ、今回のA認定の取得に至りました。

## 10月はピンクリボン月間です

ピンクリボンとは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することを目的とした世界規模の啓発キャンペーンもしくはそのシンボルです。

乳がんは、日本女性の悪性腫瘍罹患率1位で、20歳過ぎから発症が見られます。しかし、早期発見が出来ればほぼ完治することができます。早期発見するためにも、マンモグラフィ検診やご自身でセルフチェックを行ってみましょう。

### セルフチェックの一例



#### 鏡に向かって・・・

- ①鏡の前に立ち、両方の乳房に違和感がないか観察する。
- ②両手を上下し、正面・側面・斜めから観察する。
  - ・形、大きさ、高さの違いはないか
  - ・皮膚の一部や乳頭にへこみやひきつれはないか。
  - ・乳頭にかさぶたやただれはないか
  - ・乳頭に異常な分泌液は出ていないか

これからも当院は質の高いマンモグラフィ検診、乳がん診療の提供に取り組んでいきます。

当院は紹介予約制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談ください。

- ♪ お問い合わせ先 放射線科 ♪  
♪ ご希望の方はご自由にお持ちください ♪

# 今月の医療

～こんな治療・検査をご存じですか

## 【夜尿症について — 小児科 —】

### 夜尿症とは？

夜尿症は、5歳以上で夜間睡眠中に尿が漏れる病気です。「おねしょ」から「夜尿症」の頻度は、2歳で65.5%（毎晩は39.9%）、3歳で42.3%（14.3%）、4歳で29.6%（8.2%）、5歳で16.6%（4.0%）、小学生は約10%、中学校入学頃は約1%、成人は約0.1%です（図1参照）。

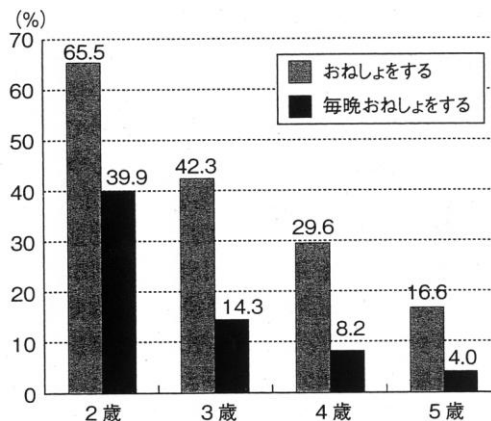


図1 おねしょの頻度

5歳以上の夜尿のお子さんを持つ母親727人にインターネットを介して調査を行った結果を見ると、4分の3以上の子どもが医療機関を受診しておらず、「病気ではない」「そのうち治る」と思っている方が多いことが分かります（図2、3参照）。

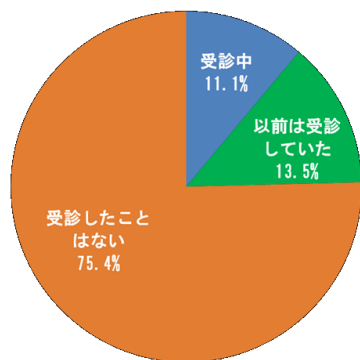


図2 夜尿症で医療機関の受診の有無

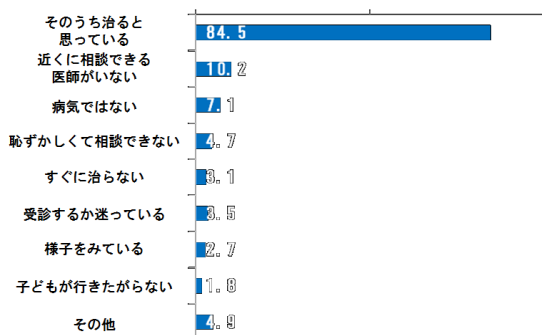


図3 医療機関を受診していない理由  
(未受診の患児[n=548])

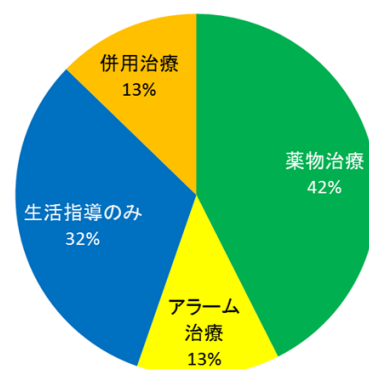


図4 治癒した症例の治療内容

### 夜尿症の原因は？

夜尿症は、95%は出生時から続いています。脳腫瘍や腎疾患、内分泌疾患、心理環境的な問題などから起こることもあります。出生時からの場合は、①夜の尿量が多すぎる、②膀胱が小さい、③膀胱の働きが夜だけ不安定な点が挙げられます。

### どうやって治療するの？

治療は、①生活への注意（夕食後に水分を取り過ぎない。冷えに対して腹巻、就寝前の入浴、就寝時の重ね着、寝る直前の排尿）、②アラーム※1や干渉低周波※2による治療、③薬物療法があります。多摩南部地域病院の夜尿症外来では、今まで治癒したお子さんの3分の1が生活に対して注意するだけで治っていました（上記図4参照）。また、治癒期間は半年～6年くらいです。

※1 “ウエットストップ”という器具を用いて、不安定に収縮する膀胱の尿をためる力を高めていく治療。

※2 骨盤の周囲に電極を貼り、ある時間電気を流して膀胱の機能を安定させる治療。

「夜尿症」は“病気”です。心配な時はどんな夜尿なのか、どうしたら良いのかを気軽にご相談ください。

小児科公社医員 堀 加代子

☆ 当院は紹介予約制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。